

健全で豊かな森林づくりプロジェクト 自己評価シート（5年間の総括）

プラン名	たにぐみ山づくりプロジェクト（岩坂峠）			作成日	2012年 4月 26日		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 単独 <input type="checkbox"/> JV	所属	揖斐郡森林組合	記入者	長谷川 政弘		
プロジェクトの対象・目的・内容	対象（誰を、何を）	目的（どういう状態にしたいのか）					
	揖斐地域の森林 ①急峻な地形が多く、路網密度も低く、木材の搬出利用が進んでいない。 ②不在森林所有者が27%を占め集約化が進んでいない。	採算性のとれる持続的な森林施業が可能な森林へ誘導する。 ①傾斜等の地形に合った車両系やその他の作業システム導入による木材搬出 ②面的に整備できるよう施業地の集約化及び所有界の確定					
	①緩傾斜の地域では、高密度路網による車両系の搬出システムを導入し、採算性の確保を目指す。 急傾斜の地域では、各種搬出システムを実践するなど、採算性の検証を行う。 ②施業地の集約化については、各戸訪問、現地説明、座談会、DM等を組み合わせて進めるとともに、現地説明時に所有界の確定を行う。						
事業期間	平成 19年度 ～ 平成 23年度（ 5 年間）						
	モデル団地への国・県・市町村補助金投入額 ※職員人件費を除く						
事業種別	森林整備関係	搬出補助関係	機械導入関係	路網整備関係	治山・保安林関係	その他	
予算執行額（千円）	45,237	1,815	16,674	16,231	154,461		
財源内訳	国・県費	39,651	1,815	7,940	16,231	154,461	
	市町村費	547		1,588			
	自己負担金			7,146			
	その他	5,039					
事業実績	成果指標		単位	事業計画（5年間の総計）		事業実績（5年間の総計）	
				計画		実績	
	①	施業集約化	ha	595		268	
	②	植栽	ha			0	
	③	下刈・除伐	ha	16		3	
	④	切捨間伐	ha	83		99	
	⑤	利用間伐	ha	113 (164)		45	
	⑥	主伐	ha			0	
	⑦	作業道開設（延長） w= 2.5 / 3.0 m	m	7,810		3,569	W=3.0 177m W=3.6 1133m
	⑧	作業道開設（開設コスト） w= 2.5 / 3.0 m	円/m	1,500		1,400	9,806
	⑨	木材生産量（モデル団地内）	m ³	2,733		2,143	
	⑩	木材生産量（モデル団地外）	m ³	347		2,020	
	⑪	木材生産性	m ³ /人日	5.1		3.2	
	⑫	木材生産コスト（伐採～積込まで）	円/m ³	9,704		13,872	
	⑬	高性能林業機械導入	台	1（ハ-ベ°ス）		1（ハ-ベ°ス）	1（中古ク°ラッ°ル）
	⑭	伐採専門チーム養成	チーム	1		2	
	⑮						
	⑯						
	⑰						
	⑱						
	⑲						
	⑳						
	(21)						
	(22)						
	(23)						
(24)							
(25)							
補足説明							

【フォローアップ委員会時点の自己評価】				
配点		3点	2点	1点
1 達成度	プロジェクトは当初計画どおり実施されているか	<input type="checkbox"/> 実施されている	<input checked="" type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった
	当初設定した目標（生産コスト等）は達成したか	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 一部達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった
	進捗管理（定点観測等）は実施されているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施されている	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input checked="" type="checkbox"/> 実施されなかった
	【プロジェクトの総括自己評価】			
配点		3点	2点	1点
	プロジェクトは当初計画どおり実施されているか	<input type="checkbox"/> 実施されている	<input checked="" type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった
	当初設定した目標（生産コスト等）は達成したか	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 一部達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった
	進捗管理（定点観測等）は実施されているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施されている	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった
	補足説明	・路網整備の遅れにより、一部利用間伐が当初計画どおり実施できなかった。平成24年度に利用間伐実施。		
【フォローアップ委員会時点の自己評価】				
配点		3点	2点	1点
2 成果	木材生産の拡大が図られているか	<input type="checkbox"/> 図られている	<input checked="" type="checkbox"/> 一部図られている	<input type="checkbox"/> 図られていない
	森林環境（動植物等）の改善を確認できるか	<input type="checkbox"/> 大いに確認できる	<input checked="" type="checkbox"/> 一部確認できる	<input type="checkbox"/> 確認できない
	山地災害発生を抑制する工夫ができたか	<input type="checkbox"/> 工夫できた	<input type="checkbox"/> 一部工夫できた	<input checked="" type="checkbox"/> 工夫できなかった
	【プロジェクトの総括自己評価】			
配点		3点	2点	1点
	木材生産の拡大が図られているか	<input checked="" type="checkbox"/> 図られている	<input type="checkbox"/> 一部図られている	<input type="checkbox"/> 図られていない
	森林環境（動植物等）の改善を確認できるか	<input checked="" type="checkbox"/> 大いに確認できる	<input type="checkbox"/> 一部確認できる	<input type="checkbox"/> 確認できない
	山地災害発生を抑制する工夫ができたか	<input type="checkbox"/> 工夫できた	<input checked="" type="checkbox"/> 一部工夫できた	<input type="checkbox"/> 工夫できなかった
	補足説明	・林産班を2班体制としたことで、木材生産の拡大が図れた。 ・間伐推進が図れたことから、林内に陽光が射し、下層植生が豊かになりつつあり、森林環境の改善が図られていることが伺える。		
【フォローアップ委員会時点の自己評価】				
配点		3点	2点	1点
3 効率性	コストや業務量に見合った成果が得られたか	<input type="checkbox"/> 得られた	<input type="checkbox"/> 一部得られた	<input checked="" type="checkbox"/> 得られていない
	効率的な実施体制で推進されているか	<input checked="" type="checkbox"/> 推進された	<input type="checkbox"/> 概ね推進できた	<input type="checkbox"/> 推進できていない
	積極的に民間活力を活用しているか	<input type="checkbox"/> 活用できた	<input checked="" type="checkbox"/> 一部活用できた	<input type="checkbox"/> 活用できなかった
	【プロジェクトの総括自己評価】			
配点		3点	2点	1点
	コストや業務量に見合った成果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 得られた	<input type="checkbox"/> 一部得られた	<input type="checkbox"/> 得られていない
	効率的な実施体制で推進されているか	<input type="checkbox"/> 推進された	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね推進できた	<input type="checkbox"/> 推進できていない
	積極的に民間活力を活用しているか	<input type="checkbox"/> 活用できた	<input checked="" type="checkbox"/> 一部活用できた	<input type="checkbox"/> 活用できなかった
	補足説明	・平成23年度に林産班を新たに養成するため、経験の少ない森林技術者を従事させたこともあり、生産性が低い原因となった。 ・未利用資源の利用にあたり、いび森林資源活用センター（協）のペレット製造施設へ搬出した。		
【フォローアップ委員会時点の自己評価】				
配点		3点	2点	1点
4 妥当性	地域住民（森林所有者）のニーズを反映しているか	<input type="checkbox"/> 反映している	<input checked="" type="checkbox"/> 一部反映している	<input type="checkbox"/> 反映していない
	プロジェクトの計画内容（箇所・時期等）は適当であったか	<input type="checkbox"/> 適当であった	<input checked="" type="checkbox"/> 一部適当でなかった	<input type="checkbox"/> 適当でなかった
	期待する人材は養成されたか（伐採専門チーム等）	<input type="checkbox"/> 養成された	<input checked="" type="checkbox"/> 一部養成された	<input type="checkbox"/> 養成されていない
	【プロジェクトの総括自己評価】			
配点		3点	2点	1点
	地域住民（森林所有者）のニーズを反映しているか	<input type="checkbox"/> 反映している	<input checked="" type="checkbox"/> 一部反映している	<input type="checkbox"/> 反映していない
	プロジェクトの計画内容（箇所・時期等）は適当であったか	<input type="checkbox"/> 適当であった	<input checked="" type="checkbox"/> 一部適当でなかった	<input type="checkbox"/> 適当でなかった
	期待する人材は養成されたか（伐採専門チーム等）	<input type="checkbox"/> 養成された	<input checked="" type="checkbox"/> 一部養成された	<input type="checkbox"/> 養成されていない
	補足説明	・林産班を1班新たに養成し、2班体制を構築することができた。 ・森林所有者から要請のあった、作業道開設による森林の荒廃を防ぐ作業道開設ができ、森林の保全を図ることができた。		

【フォローアップ委員会時点の自己評価】				
配点	3点	2点	1点	
関係者(住民・所有者・従事者)の満足度は向上したか	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した	<input type="checkbox"/> 一部向上した	<input type="checkbox"/> 向上しなかった	
選定委員会、研修等における指摘事項は十分対応できたか	<input checked="" type="checkbox"/> 対応できた	<input type="checkbox"/> 一部対応できた	<input type="checkbox"/> 対応できなかった	
上記以外にも成果向上のための改善余地はあるか	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がない	
【プロジェクトの総括自己評価】				
配点	3点	2点	1点	
関係者(住民・所有者・従事者)の満足度は向上したか	<input type="checkbox"/> 反映している	<input checked="" type="checkbox"/> 一部反映している	<input type="checkbox"/> 反映していない	
選定委員会、研修等における指摘事項は十分対応できたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適当であった	<input type="checkbox"/> 一部適当でなかった	<input type="checkbox"/> 適当でなかった	
上記以外にも成果向上のための改善余地はあるか	<input checked="" type="checkbox"/> 養成された	<input type="checkbox"/> 一部養成された	<input type="checkbox"/> 養成されていない	
補足説明	・ 施業集約課が新設され、2名の森林施業プランナーが専任された。			

自己評価結果(集計)

評価集計	1 達成度	2 成果	3 効率性	
	7	5	6	
	4 妥当性	5 発展性	合計点	
	6	9	33	
	6	8	36	
総合評価	フォローアップ時	5年目総括時		
	B	A		

総合評価：A=現状維持 B=充実・拡大 C=要改善
 (配点区分：A=45~36点 B=35~26点 C=25~15点)

農林事務所 コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・所有者同意の関係で、路網整備が遅れ、一部利用間伐がプロジェクト期間内に実施できなかったが、次年度に予定している。 ・林産班を1班から2班体制にする取組みの過程で、経験不足等による素材生産性の低下があったが、経験豊富な林産班は最大5.3m³の素材生産性の成果をあげながら、2班体制を構築することができた。 ・前述の課題(所有者同意)解決が、重要であることが組合内でも理解され、プロジェクト期間最終年度には、養成した森林施業プランナー2名を集約化専任とするため、施業集約課を新設するなど、今後の集約化推進が期待できる。
---------------	---

プロジェクト実施者による自己総評

プロジェクト 構成員による 個別コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・車両系システムで、当組合の素材生産量は3,200m³に達することができた。 ・林産班2班体制に取組み、最高の生産性は5.3m³であった。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・森林所有者の高齢化と山林での収益の減少(木材価格等の低迷)により、山に対する興味が薄れ、手入れ放棄による不健康な山林が増えているのが現状であるが、今回のプロジェクトの取組みにより、森林所有者自身の意識改革が進んだ。また、地区での団結力が必要であり、点的ではなく面的に森林整備に取り組む重要性が理解して頂け、施業集約が進んだ。 ・施業集約の実施に当たっては、県の普及員(AG)、町の林務担当者、地区の区長等の協力も得て、集約化方法や台帳確認、現地立会を進めることができた。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の念願であった作業路網は、一部の森林所有者の理解が得られず、当初の構想を達成することはできなかった。 ・なお、加速化路網整備事業による幅員3.6mの基幹道が森林所有の負担なく開設することができた。 ・今後は、基幹道を利用して森林管理路等を計画的に配置し、木材利用の拡大を図ることとする。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の課題としては、森林経営計画策定に向けた施業集約化区域の設定方法を検討するとともに、森林所有者の意向を踏まえて、現地調査を実施しながら中・長期的な計画を検討し、「健全で豊かな森林づくり」を推進したい。
----------------------------	---